

# はぐるま

No. 8 1  
 2014年 7月25日  
 社会福祉法人  
 はぐるまの会  
 広報委員会  
 後援会  
 川崎市多摩区菅馬場1-18-17  
 Tel 044-946-1308

## 改めて今 重みを感じます

日本国憲法に基づく目標を設定し  
 はぐるまの実践が始まったのが  
 今から31年前。

澤理事長は

「この優れたすばらしい目標に誇りを持ち  
 はぐるまの実践を継続して行ってください」と、よくこの目標に触れてお話をされます。

はぐるまの職員は、この言葉の「解釈」と

○あきらめない

あきらめさせない

○いじめない・いじめさせない

○さぼらない・さぼらせない

○仲間はずれにならない

仲間はずれにさせない

○言いたいことを言う

言いたいことを言わせる

### はぐるまの行動目標

「実践の方法」を長年追求してきました。31年前とでは障害者感もだいぶ変わってきていますが、どのような時代でも変わらないのがこの目標です。変わっていく事を拒否しているのではありません。「職員が勝手に変える」と仲間を怒られるわけです。変える時は手続きがとても重要なのです。

【注・現在変える予定はありません】

さて、この度の閣議決定については、この「手続き」を無視した形で憲法の解釈が、一部の人たちだけで変えられました。

ルールを守らないやり方に誰もが納得しているわけではありません。

それどころか、「いじめない」↓「仕方がないときはいじめも良い」になり、多くの反対の「言いたいこと」を無視するやり方に、怒らなくてはならない事態が起こっています。

この数日、日本の憲法の揺るぎを目の当たりにし、改めて思うことは、

いじめさせない・・・させないための方策

を私たちは持っているか？ということなのです。

日本の平和憲法を守るための方策を十分論議されたいと願うとともに、この度の事態は、わが身（はぐるま）に置き換えても重大な課題を突き付けられている現状に、身の縮まる思いでいます。

# これからよろしく

## 新任職員紹介

### 第1作業所

#### 波多野真帆

4月から第1作業所・第3ホームで勤務しています。私には自閉症の妹がいます。新社会人として、家族という枠を超え障がいを持つ方々の支援をしていきたいという思いから「はぐるまの会」で働き始めました。今は支援員としての、コミュニケーションの取り方に苦慮しつつも、まだまだ知らない仲間の力・特徴を発見していくことに、この仕事の楽しさを感じています。これからどうぞよろしくお願ひします。

※元気な22歳が輝いています。若さを武器に大いに動き躍動してほしいと願ひます。

### 第1作業所・管工舎

#### 村木美咲

この度、作業所の支援員として働く事になりました村木美咲と申します。大学では主に繊維の耐久性や洗濯など日常生活で用いられる被服を専門に勉強して参りました。福祉関係の仕事は未経験ではありますが、やりがいのあるこの仕事に誇りを持ち、自分なりに日々努力をして参ります。そして私が生まれ育った地元への貢献することによって、仲間と共に自分自身が人間的に成長をしていきたいです。

未熟な面も多々ありますので、ご指導のほど、宜しくお願ひ致します。

※フレッシュな22歳がはじけます。はぐるまでは久しくこの年代の採用をしていますが、今年は華やかです。

### はぐるま工房

#### 成田健太

初めまして、今年の6月から、はぐるま工房に配属になりました成田健太と言います。

あぐりホームの金曜日、宿直も入っています。昨年まで平塚の地域活動センターで、日中系の活動をしていました。仲間の事はまだまだ分からない事ばかりなので、みなさんに教えて頂きながら、共に成長できたいと思います。よろしくお願ひ致します。

※たくましい29歳が、畑で仲間と汗を流しています。工房の仲間にとりまして、大きく育ってください。

○作業所は年齢構成のバランスを取るため、若手の採用をしました。今年度は、将来を担う人材の育成に力を入れます。

## 看護師

武上由香

はぐるまでの3カ月がアツという間に過ぎました。私自身このような施設での勤務は初めてで、毎日仲間たちや職員の皆さんから学ぶことが多く、とても刺激的な日々を過ごしています。これからも仲間たちと、彼らを

支える方たちの健康な生活をサポートできるように努めていきます。不慣れな対応でご迷惑をおかけすると思いますが、ご助言ご協力よろしくお願い致します。

○看護師は今後益々重要な役割を担うことになりま。今まで一人で頑張つて頂きましたが、仲間50人の健康管理をするために二人態勢が必要となり、この度実現いたしました。毎日大忙しの活躍です。

## みどりホーム

大野嘉寿子

はぐるまの会に入職し8月で丸1年になります。個性豊かな仲間たちに囲まれ刺激的の

ある日々を送ることができています。

まだまだ不慣れな事も多く戸惑うばかりの毎日ですが、作業所やホームでの多様な活動を通じて、仲間の個性を尊重し、私も共に学び成長していききたいと思ひます。

## あおぼホーム

巻山季幸

こんにちは。あおぼホームの巻山です。

今まで老人介護を10年ほど行っていました。以前から障害者支援にも興味があり、いつかはやってみたいと思っていたところ、はぐるまの会と縁があり、昨年11月より勤務し、早いもので8カ月が過ぎました。

私の兄は知的障害がありその関係で施設をいくつか見てきましたが、実際に働くのは初めてで、自分が障害者の支援が出来るのか不安もありました。2つの目標を立て接しています。

一、仲間の人生にほんの少しサポート、手助けをする。二、作業所・ホームの生活において、楽しく充実した生活が送れるよう笑顔で対応することです。はぐるまの雰囲気良く、私自身

やりがいを感じています。まだまだ分からない

事も、戸惑うこともあります。仲間たちの力になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

○ホーム常勤職員は経験者で、即！戦力を重視しました。日頃より沢山の非常勤職員に支えられて、仲間の生活が成り立っていますので、仲間の支援に加え職員のマネージメントを担います。(紙面の関係でホームの非常勤職員の紹介ができませんので、次号でお伝えします)

## 本部

山崎将人

5月から本部の経理担当として入職した山崎将人と申します。毎週木曜日は第1作業所でお手伝いをさせて頂いています。かつては大学生活を送った愛媛県で書籍店員・校正者として働いていましたが、東日本大震災をきっかけに地元の川崎に帰郷し、経理の職業訓練を経て入職いたしました。まだまだ不慣れな所もあり、ご迷惑をおかけすることもありますが、よろしくお願ひ致します。



# 富士山クラブ参加して10年



はぐるまの仲間たちが  
環境NPO設定特定非営利活動法人

「富士山クラブ」の活動に参加したのが平成16年でしたから、10年前になります。年2〜3回、ホーム単位の少数で地道に参加し続けています。

その間平成18年には、はぐるまの行事として、一泊二日でこの活動に全員で参加しています。

今まで地元の方たちや、アルピニストの野口健さんをはじめとする、

沢山の人たちが地道にごみを拾ってきた一つの成果は世界遺産登録でしょう。しかし未だにごみは取り切れていないのが現状で、

特に不法投棄の電化製品、冷蔵庫

庫・洗濯機・パソコン

エアコンが転がっている

様はひどい光景です。

土に埋もれている

プラスチック・ガラス

の破片は、森のリスや

## 上から投げ捨てられたごみ



モグラなど、野生動物を危険にさらすと聞いています。

土に埋もれている物を竹べらで掘り起こす作業を何度も体験してきました。

仲間たちが主に行ってきた活動は、青木が原の樹海が中心で、道路わきの平坦な場所から森林の中の急斜面での作業等、ここでは長年の登山活動で鍛えた足腰の強さが生かされます。

世界遺産の登録は、美しい富士山を守り続ける活動を永遠に続けることも求められるは

ずなので、

「富士山をごみで汚すのは私たち人間です。しかし、そのごみを片付ける事が出来るのも、私たち人間です。少しでも早く美しい富士山を取り戻すために、一緒に活動しましょう」

という富士山クラブの呼びかけに賛同し今後もこの活動に参加します。

※この活動は、ホームの一部の仲間だけでなく仲間全員が関わられるようにならないかとの要望が出ていますので、今後どのように活動していくかは課題です。

## 仲間と子ども



## 地域と共に

### 笑顔と歓声があふれるお祭りとなりました

八雲神社例大祭（夏祭り）・第2回、稗原農園山がっこ&流しソーメン大会へのご参加をいただきありがとうございました。



地元、水沢の森の  
竹を使用した  
流しソーメン大会



今年も、農園地権者の岸井さんのご協力に

より、青山商店さんのある宮城県石巻市北上町十三浜への支援をご一緒させていただいている海ちゃんこと、NPO法人水守の郷・

七ヶ宿の海藤節生さんとその仲間たち、通称「海ちゃん一座」をお招きして、山がっこ

（自然体験教室↓山の学校↓山がっこ！）

と流しソーメン大会を開催することができました。まずは、参加者全員で水沢の森から切り出した竹から、悪戦苦闘しながら器と箸を制作するところから始まります。

稗原農園産の野菜が飛び出す「流しソーメン」に子ども達と仲間たちは大はしゃぎです！ 稗原の夏の恒例行事を目指し、これからも楽しく継続をしていきたいと思えます。



昼食後は、「海藤節生&海ちゃん一座」によるスペシャルライブで盛り上がりました！

当日は、稗原の八雲神社例大祭（夏祭り）が開催されており、水沢の森と農園で山がっこ

こを体験し、流しソーメン大会でお腹を満たした後は、「海藤節生スペシャルライブ参加組」と稗原子ども会と一緒に「御神輿&子ども太鼓町内巡行組」の2班に分かれて、大忙しながら充実した夏の日となりました。

子ども会との巡行では、はぐるまの仲間たちは、どの子どもたちよりも大きな声を出し続け、お祭りを盛り上げる大役を見事にやり遂げることができました！と報告を受けています。



尚、当日の参加費とご協力をいただいたカンパ金に関しましては、昨年度と同様に

「十三浜支援金と十三浜夏祭り鎮魂の花火資金」へ寄付をさせていただきました。

ご参加・ご協力ありがとうございました。



# はぐるま後援会だより

はぐるまの会 後援会事務局

〒214-0004 川崎市多摩区菅馬場1-18-17

TEL 044-946-1308

NO, 30 26年7月

ご入会ご更新ありがとうございます

## 25年度決算

◎個人会員 165名

◎法人会員 5団体

東京セントラル税理士法人  
川崎信用金庫中野島支店  
トランサイド珈琲

### 法人会員

安藤延夫／岩田洋子／海老原玲子／金子良夫  
金田 進／鬼海紀子／木島誠子／倉持洋子  
桑原慎次／板野裕樹／櫻井耕治／佐藤貴志子  
佐藤初江／志岐岳矢／志岐チエ子／玉井信重  
末松 恵／中村 操／中村静美／中川 極  
芳賀ゆみ子／橋本妙／原口三重子／蛭海 進  
堀内金吾／巻山協子／松井隆一／保田和美  
山田幸子／山本糸子／渡邊邦義／橋本静代  
勝田佳代子／遊来区（山田）（5／1～7月現在）

個人会員 （敬称略）

収入の部		単位 円
収支科目	収入金額	
前年度繰越金	6,782,573	
前年度比の小口現金残	34,672	
会費収入	450,560	
寄付金収入	451,250	
預金利息	616	
活動収入	15,900	
計	7,735,571	

支出の部		単位 円
収支科目	支出金額	
事務経費	73,793	
はぐるまの会給食設備資金寄附 （川信 口座より）	567,500	
活動支出	6,100	
次年度繰越金	7,088,178	
計	7,735,571	

財産目録 1 平成26年3月31日現在

《預金》		
A: 郵便振替口座 00260-8-113778	2,665,860円	
B: 川崎信用金庫 中野島支店 （普通）0685227	4,203,519円	
預金 計	6,869,379円	
《現金》	218,799円	
総 計	7,088,178円	

本収支決算報告を監査の結果、適正であると認めます。

平成26年6月24日

会計監査 譽山 協子   
会計監査 佐藤 貴志子 

◎26年度より、3年間会費の入金がない場合、更新のお願いをしませんので、会員数の40%程減少する見込みです。今後会員獲得の為の活動を役員会にて検討をしていきます。

きょうされん全国大会協賛金の  
ご協力ありがとうございました  
皆様のお協力のおかげで、目標額50万円を上回り、564,000円集まりました。北は北海道、南は沖縄と全国の仲間たち6千人を迎えての全国大会を成功させる為、はぐるまとしても最善を尽くします。